

「おやじの日」(発注者・受注者家族向け現場見学会)を実施しました

去る8月3日(土)、唐津市巖木バイパス工事現場で、工事関係者の家族を対象とした現場見学会「おやじの日」を開催しました。

このイベントは、九州地方整備局と九州各県建設業協会で構成する「広報WG」を中心に、普段「おやじ」達がどんな所でどんな仕事をしているのか、この仕事が皆にとってどのような役割を担っているのかという事を、まずは家族に知ってもらおうと企画され、当日は大分県・沖縄県を除く6県8ヶ所で開催しました。

当日は、正に真夏を思わせる暑さの中、48名のご家族に参加頂きました。

開催に先立ち、発注者を代表して佐賀国道事務所の黒岩所長、受注者を代表して広報WGのメンバーでもある㈱下村建設の下村社長から挨拶を頂き、見学会をスタートしました。



黒岩所長



下村社長

最初に、この工事の全体について佐賀国道事務所の監督官より説明を行ないました。



説明の様



参加者の様子

続いて、2班に分かれて現場へと向かいました。



バスの中で行程説明



椿の原地区現場到着



担当者から説明



熱中症対策もバッチリ



親子で、皆さん真剣に聞いてくれます



70tリッパードンプの迫りにビックリ



再び移動して、岩屋1号橋床版工事現場へ。こちらは一部配筋作業中。



工事概要説明

鉄筋の重さ当てクイズ説明中



トランジットを使った距離当てクイズ。笑顔が弾けます。



オートレベリングを使った高さ当てクイズ。今日は見学なのに、血が騒ぐ？



親子で配筋作業体験



クイズ優秀者の表彰



皆で記念撮影。お疲れ様でした。

2ヶ所の現場では、大型重機の見学や各種クイズなどを行ない、子供たちも楽しく見学していました。最後に、全員で記念撮影を行なって今日の見学会を終了しました。

感想を聞いたところ、「暑い中頑張ってる」「どんな所で仕事してるか分かって良かった」「工事が終わったら通ってみたい」などの意見がありました。

今回、初めての試みでしたが、参加した皆さんも喜んで帰っていかれました。

なお、他県の模様は九州地方整備局のFacebookに後日Upされますので、そちらも是非ご覧下さい。